

あんしんダイヤル

消防広報

NO. 29

119

京都中部しょうぼう

編集・発行／京都中部広域消防組合  
〒621-0851 亀岡市荒塚町1丁目9番1号  
TEL 0771-22-9581 FAX 0771-23-4535

平成20年11月1日発行

災害出動状況(平成20年4月1日～平成20年9月30日)  
火災 23件・救急 2,554件・救助 36件・その他 123件



## 子どもたちの未来を守る

不慮の事故で子どもたちが犠牲になることも多く、子どもたちを守る術を学ぶことは、とても大切なことです。

もしもの時に冷静に行動できるように、子どもたちを助けるための知識と技術を身に付けましょう。

【写真：三角巾を用いた頭部外傷などの応急処置】

南丹市美山町 やんちゃクラブ



### ◆◆ご存知ですか◆◆

私たちのまちには、自分たちのまちを「災害のないまち」「災害に負けないまち」にしようと消防組合と協力して活動している団体があります。

まちを守るたくさんの力を紹介します。

### 消 防 団

消防団は、普段は仕事を持つ人たちで組織され、火災や地震、水害などが発生したときに、消防組合や関係機関と連携し、さまざまな活動に活躍しています。

また、住民のみなさんに火災予防を訴えたり、消火器による初期消火の方法や消火栓による消火方法を教えるなどの活動もしています。

さらに、地元の人たちで組織されていることから地域の実情を熟知しており、イザというときに身近で頼りになる存在です。



私たちのまちを守る地元の消防団への協力をお願いします。



### 危 険 物 安 全 協 会

危険物安全協会は、身近にある危険物（ガソリン、灯油、サラダ油など）の安全な貯蔵・取扱方法などを啓発するとともに、家庭での危険物事故を防ぐため、街頭広報や住宅防火フェアを実施しています。

また、協会の従業員を対象に危険物保安研修会や安全管理研修会を開催し、危険物の保安に対する意識の高揚と安全対策に関する知識の向上に努めています。



さらに、幼年消防クラブ員を対象に防火七夕会を開催するとともに、消防ちびっ子写生大会、防火ポスターコンクールを実施し、子どもたちの消防に対する理解を深め、作品を通じて防火意識の高揚を図っています。

また、これらの入選作品を展示することにより、地域住民に対して広く火災予防を普及啓発しています。



### 自 衛 消 防 隊 連 絡 協 議 会

自衛消防隊連絡協議会は、「自らの事業所は自らが守る」を合言葉に、火災はもとより、地震やその他の災害に対する事業所の自衛消防体制の充実強化を図り、地域社会の安全と発展を目的として活動しています。



春や秋の火災予防運動週間中には、火災予防を啓発するとともに、年間を通して普通救命講習会や指導者研修会、消火訓練大会の開催など、積極的に事業を展開しています。



特に、消火訓練大会では、消火器による初期消火技術を競う消火器操法訓練、より消火能力の高い屋内消火栓設備による消火技術を競う屋内消火栓操法訓練、発見から通報、初期消火、避難誘導までの初動体制の技術を競う初動活動操法訓練を実施し、自衛消防隊員の士気の高揚と消火技術の練磨を図っています。

さらに、消防出初式にも参加し、「災害に強い安全なまちづくり」を推進しています。

# 守ろう地域をみんなの力で 安全・安心のまちづくりを消防から

## 自主防災組織

我が国は、世界有数の地震大国であり、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災などの大地震による被害は、皆さんの記憶にも深く刻まれていると思います。



こうした地震や台風などの災害では、広範囲に被害が発生することから、十分な救助の手を差し延べることは非常に困難となります。このため、消防機関、住民、事業所等が一体となって、総合的な防災体制を確立し、災害による被害を軽減するために自主防災組織の設置が促進されました。

亀岡市では、平成8年から19の自主防災会を設置し、地域単位での消火訓練や自主防災訓練の実施、亀岡市防災訓練の参加など、災害対応能力の向上を図っています。

また、南丹市・京丹波町においても、自主防災組織の設置が予定されており、更なる住民同士の連携強化や自主防災組織を中心とした訓練など、その活躍が期待されます。

## 婦人(女性)消防協力隊

地域や家庭における火災予防に努め、地元消防団と協力しながら防火や消防に対する知識や技術を習得することにより火災のない平和で豊かなまちづくりに寄与するため、活動しています。

また、適正な救急車の要請や救急車が到着するまでの応急手当の重要性などを地域住民に伝え、有事の際には的確な判断で処置を実施し、地域の人たちのための救護活動に備えています。



今後も、これまでの活動を柱として「災害は、忘れたころにやってくる。」という言葉をお忘れずに女性の視点から被災者を支えることの重要性を重んじ、地域の安全と安心のための活躍が期待されます。



## 幼年消防クラブ

純粋で感性あふれる幼児たちに、防火の心を芽生えさせるとともに、幼児たちを通して家庭や地域住民の防火意識の高揚を図り、「火事のない明るいまちづくり」の推進に寄与することを目的に活動しています。

亀岡市、南丹市及び京丹波町内では、約2,500名の幼児たちが幼年消防クラブ員として活躍し、火遊びをしないために火の恐ろしさを学んだり、住民の方々に火の用心を訴える活動を行っています。

この幼年消防クラブ員の育成と活動にご協力をお願いします。



## 市民(町民)救急員

当消防本部では、平成16年7月から一般の人にも使用が認められたAED(自動対外式除細動器)の使用方法を含めた普通救命講習会を開催しています。

すでに、延べ8,700人の方が市民(町民)救急員として認定され、救命のリレー(早い119番通報⇒早い応急手当⇒早い救急処置⇒早い救命医療)の第1走者として、今後の活躍と救命率の向上が期待されます。

# フォトレポート

地域住民を対象とした防火・防災活動の一部を紹介します。  
自主防災活動や普通救命講習会、事業所における訓練など、さまざまな事業に取り組みました。

## 移動消防署あれこれ

5月5日(月)  
丹波ちびっこまつり



6月17日(火)

日吉福祉大学・紅が丘大学



7月21日(月)

亀岡市追分町



8月23日(土)

亀岡市篠町



## 防災の日(発災型訓練あれこれ)

8月30日(土)

東・西・南つつじヶ丘の自治会



## 9月9日「救急の日」の事業あれこれ

9月9日(火)

街頭キャンペーン(医療機関と  
合同で「救急の日」を啓発)



## 危険物製造所等の訓練あれこれ

6月6日(金)

美山化成株式会社



6月12日(木)

全国農業協同組合連合会

京都府本部 余部給油取扱所



## 自治会・自主防災会の訓練あれこれ

6月8日(日)

南丹市八木町南地区



6月29日(日)

亀岡市亀岡地区東部自主防災会



9月13日(土)

一般公募の普通救命講習会  
(京丹波町中央公民館)



## 救急車の正しい利用編

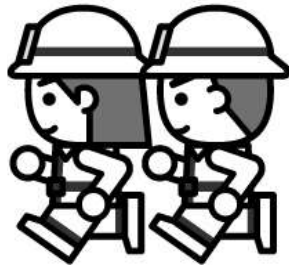
救急車の出動件数は、年々増加しているなか、緊急性がないのに救急車を要請するケースも増加し、本当に1分1秒を争う生命に危険な傷病者を待たせてしまう場合があります。

このため、当消防組合では、適正な救急車の利用を呼び掛けています。



次のような事例では、本当に救急車が必要でしょうか？

- ◆ スポーツ大会で転倒、かすり傷程度で救急車を要請した。
- ◆ 割れたコップを片付けていたら破片で指を切ったので、救急車を要請した。
- ◆ どの病院に行くのかわからないので、案内してもらうため、救急車を要請した。



大忙しの救急隊員

## セルフスタンドの注意事項編

ドライバーが自ら給油を行うセルフサービス式ガソリンスタンド（セルフスタンド）では、次のことを守りましょう。

- ◆ ドライバー自らが、ガソリンを容器へ小分けすることは、できません。
- ◆ エンジンがかけたまま、給油をすることはできません。
- ◆ 煙草を吸ったり、ライター（車内のシガーライターを含む。）で火をつけることはできません。
- ◆ 給油ノズルのレバーを器具など用いて固定することはできません。

## ガソリン等を入れる容器編

ガソリンや軽油、灯油を入れる容器は、消防法令により一定の強度を有するとともに、その材質によって容量が制限されています。

特に、灯油用ポリ容器にガソリンを入れることは、非常に危険ですので、絶対に行わないでください。

ポリタンクには、  
ガソリンを入れ  
ないでください。



## 住宅用火災警報器編

住宅用火災警報器で助かった事例を紹介します。

- ◆ 夕食の支度で揚げ物中にテレビに夢中になり、コンロから出火した火災で、台所に設置していた住宅用火災警報器が作動し、消火器で消し止めることができました。さらに、その音に気付いた2階の部屋の子どもたちが避難し、大事に至らなかった。

このように、「ついうっかり」が原因の火災や就寝中の火災のときに、住宅用火災警報器が被害を最小限度に食い止め、大切な命を守ってくれます。



まだ設置していないご家庭は、早急に設置しましょう。

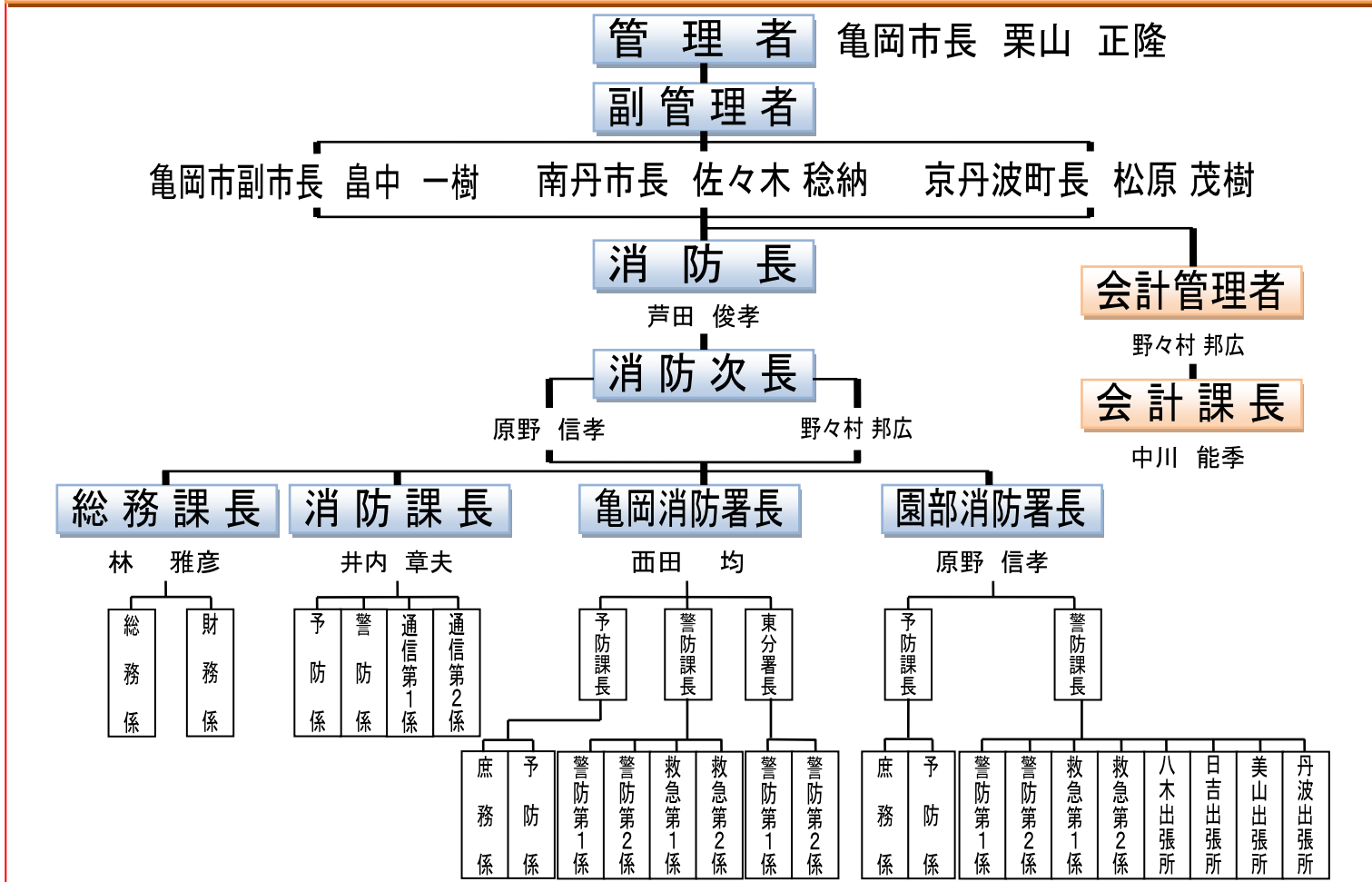
### 注意

高額な料金や粗悪な商品を販売する悪質な業者が横行しています。特に、悪質な訪問販売に注意してください。



# 京都中部広域消防組合を紹介します

## 京都中部広域消防組合組織図



## 緊急消防援助隊

全国の消防機関が一丸となって国民の安全を守る！

緊急消防援助隊とは、阪神・淡路大震災の直後に創設され、国内における大規模な地震や特殊災害などの広域災害の発生時に被災地へ赴く部隊です。

つまり、各都道府県を超えて、人命救助活動等を実施することを任務とした特別編成部隊のことで、全国の消防機関が参加しています。

京都中部広域消防組合では、消火隊、救助隊、特殊装備隊の各1隊の合計3隊を登録しています。

京都中部広域消防組合  
緊急消防援助隊の登録車両



特殊装備隊「はしご付消防自動車」

## 京都中部広域消防組合緊急消防援助隊の活躍



全国の隊員が協同で消火活動を実施（写真：左手前「京都中部広域消防組合の消火隊」）



全国の隊員が協同で特殊災害時の救出活動を実施（写真：中央「京都中部広域消防組合の救助隊」）



消火隊「消防ポンプ自動車」



救助隊「救助工作車」

防火防災に関する  
ことなら何でも  
ご相談ください

消防組合  
消防本部  
亀岡消防署  
園部消防署

会計課 22-9580  
総務課 22-9580  
予防課（庶務） 22-0119  
東分署 23-0119  
予防課・警防課 62-0119  
美山出張所 75-0119

消防課 22-9581  
予防課（予防） 22-9583  
八木出張所 42-3119  
丹波出張所 82-0119

消防指令室 22-9582  
警防課 22-9584  
日吉出張所 74-0119